



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年1月8日

上場会社名 株式会社ジーフット 上場取引所 名
 コード番号 2686 URL http://www.g-foot.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井博史
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長 (氏名) 村瀬 透 TEL 052-732-7789
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の業績（平成25年3月1日～平成25年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	74,582	—	3,545	—	3,534	—	1,896	—
25年2月期第3四半期	68,670	4.2	2,406	56.4	2,384	59.1	1,166	275.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	182.06	—
25年2月期第3四半期	112.01	—

(注) 当社は、平成25年2月期より決算日を1月20日から2月末日に変更しております。これに伴い、26年2月期第3四半期（3月1日から11月30日まで）と比較対象となる25年2月期第3四半期（1月21日から10月20日まで）の期間が異なるため、26年2月期第3四半期の対前年四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第3四半期	56,856	18,361	32.3	1,762.98
25年2月期	45,273	16,497	36.4	1,583.90

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 18,361百万円 25年2月期 16,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	6.00	—	14.00	20.00
26年2月期	—	15.00	—		
26年2月期（予想）				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	—	5,500	—	5,450	—	2,200	—	211.22

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成25年2月期は、1月20日決算から2月末日決算へ決算期の変更をしたことに伴い13ヶ月8日の変則決算となっておりますので、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期3Q	10,417,350株	25年2月期	10,417,350株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	2,201株	25年2月期	1,711株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期3Q	10,415,279株	25年2月期3Q	10,415,647株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については[添付資料]3ページ「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成25年3月1日～平成25年11月30日)におけるわが国の経済は、消費税増税予定による先行き不安が残るものの、政府による金融・経済政策(いわゆるアベノミクス)の影響で円高是正や株価の上昇が進行し、景気回復に対する期待が高まりをみせております。

このような中、当社はお客さまの多様な価値観に応える商品を提案するとともに、PB比率を高める営業商品施策を推し進めました。アウトドアブランドとして定評のあるコールマンをPB商品として、新規に取り扱っております。また、当第3四半期累計期間の出退店につきましては、出店69店舗、退店7店舗を実施し、四半期末店舗数は735店舗となり、3業態(アスビー・フェミニンカフェ・グリーンボックス)へのストアブランドの整理・統合を推し進めることで、お客さまへのストアブランドの浸透を図りました。

当社はマネジメントのデジタル化を進めており、タブレット端末を店舗等に導入してオムニチャネル化の仕組みを作るとともに、現場からの成果事例の情報発信と水平展開により、情報共有化・業務効率化を積極的に進めております。

売上高につきましては、新規出店が順調に推移していることから、745億82百万円となりました。アスビー業態ではテレビCMを実施し、ブランド認知の向上に重点を置きました。フェミニンカフェ業態では品揃えのカジュアル化を推し進めることにより、売上高のアップに貢献いたしました。グリーンボックス業態では重点商品拡販に取り組み、また、社会的行事(入学式・運動会など)へ対応することにより売上高のアップを図りました。

利益につきましては、値入率の高いPB商品を積極的に導入し、現場主導で利益重視の店舗運営を推し進めることにより、売上総利益率が45.0%となり、営業利益35億45百万円、経常利益35億34百万円、四半期純利益18億96百万円となりました。

当社はセグメント情報を記載しておりませんが、事業部門別の業績は次のとおりであります。

(靴等の販売部門)

靴等による商品売上高は、PB商品であるアスビー、Lee、マッドフット、フェミニンカフェ及びトップパリュの販売促進を積極的に行ったことにより、745億73百万円となりました。

商品別売上状況

商品別	当第3四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	
	売上高(百万円)	構成比(%)
紳士靴	12,572	16.8
婦人靴	23,921	32.1
スポーツ靴	19,709	26.4
運動靴・子供靴	12,975	17.4
インポート雑貨	1,021	1.4
その他	4,371	5.9
合計	74,573	100.0

(その他の部門)

その他の部門の売上高は不動産賃貸収入であり、9百万円となりました。

なお、当社は前事業年度において、1月20日としておりました決算日を2月末日に変更いたしました。これに伴い、前第3四半期累計期間と当第3四半期累計期間とは対象期間が異なることとなりますので、前第3四半期累計期間との比較は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は568億56百万円となり、前事業年度末と比較して115億83百万円の増加となりました。これは主に商品及び売上預け金が増加したことによるものであります。商品は店舗数の増加の影響を受け、67億65百万円増加しております。また、売上預け金は主にディベロッパーに対する債権であり、当第3四半期会計期間の末日が土曜日のため翌営業日の入金となり、41億69百万円増加しております。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は384億95百万円となり、前事業年度末と比較して97億19百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金、短期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は183億61百万円となり、前事業年度末と比較して18億64百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期通期の業績予想につきましては、現地点では平成25年10月2日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,886	2,123
売掛金	241	452
売上預け金	1,928	6,098
商品	23,808	30,574
その他	1,314	1,837
流動資産合計	30,179	41,086
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,492	3,786
土地	1,272	1,100
その他(純額)	1,176	1,007
有形固定資産合計	5,941	5,895
無形固定資産		
投資その他の資産	390	458
敷金及び保証金	6,327	6,247
その他	2,437	3,173
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	8,761	9,416
固定資産合計	15,093	15,770
資産合計	45,273	56,856
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,446	24,858
短期借入金	—	3,799
1年内返済予定の長期借入金	1,399	1,631
未払法人税等	1,258	1,358
店舗閉鎖損失引当金	0	—
ポイント引当金	218	262
賞与引当金	209	468
役員業績報酬引当金	27	6
その他	2,366	3,764
流動負債合計	25,926	36,149
固定負債		
長期借入金	2,119	1,529
退職給付引当金	36	40
役員退職慰労引当金	34	39
執行役員退職慰労引当金	7	9
資産除去債務	621	688

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成25年11月30日)
その他	29	39
固定負債合計	2,849	2,345
負債合計	28,775	38,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,326	3,326
資本剰余金	3,157	3,157
利益剰余金	9,254	10,848
自己株式	△1	△2
株主資本合計	15,736	17,330
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	760	1,031
評価・換算差額等合計	760	1,031
純資産合計	16,497	18,361
負債純資産合計	45,273	56,856

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年10月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	68,670	74,582
売上原価	39,234	41,033
売上総利益	29,436	33,548
販売費及び一般管理費	27,030	30,003
営業利益	2,406	3,545
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	23	26
その他	10	6
営業外収益合計	36	33
営業外費用		
支払利息	53	40
その他	4	3
営業外費用合計	57	44
経常利益	2,384	3,534
特別利益		
固定資産売却益	2	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	4	—
特別利益合計	7	—
特別損失		
固定資産売却損	—	94
固定資産除却損	26	46
減損損失	109	31
投資有価証券評価損	29	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	41
その他	9	9
特別損失合計	174	224
税引前四半期純利益	2,218	3,309
法人税等	1,051	1,413
四半期純利益	1,166	1,896

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。